

平成 24 年度

事業報告書

社団法人 千島齒舞諸島居住者連盟

事業報告書

平成24年度事業計画に基づき次のとおり事業を実施したので、その概要を報告する。

1 北方領土返還要求運動の推進

北方領土返還要求運動の推進を図るため、関係機関及び団体と連携し次の事業を行った。

(1) 北方領土返還要求署名活動の推進

北方領土の返還に向けた国民世論の結集を図るため、関係機関及び団体と連携し北方領土返還要求署名活動を行った。

ア 北方領土返還要求署名運動推進北海道連絡会議の開催

開催期日等：6月28日(木) 札幌市 出席者：14名

参加団体：公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会ほか 8団体

イ 北方領土返還要求署名活動の実施

平成24年度署名者数	平成24年度末累積署名者数	摘 要
1,013,067	84,932,271	平成24年度関係機関・団体別署名収集数は巻末資料1参照

(2) 国会請願及び政府要請の実施

北方領土の早期返還及び元居住者の援護対策の推進等を図るため、政府及び国会に対し要請を行った。

ア 政府要請・国会請願

平成24年11月22日に政府要請及び衆・参両議院に100万人分の署名を添えて請願を行う予定であったが、平成24年11月16日に衆議院解散となったため中止となった。

イ 政府及び国会への要請

要請期日等	主な要請事項	要請先	要請者
7月9日 ～10日 東京都	○北方領土問題の早期解決についての緊急要請	外務省審議官 民主党北海道選出議員会 自民党道選出国會議員 公明党道選出国會議員 他	道副知事 北方同盟会長 理事長 専務理事
7月10日 ～11日 東京都	○北方領土の早期一括返還 ○元島民後継者育成強化 ○北対協融資制度の拡大	野田総理大臣 川端北方担当大臣 前原政調会長 荒井民主党道代表内閣委員会委員長	理事長 両副理事長 専務理事

要請期日等	主な要請事項	要請先	要請者
11月4日 根室市	○北方領土の早期一括返還 ○財産権の不行使に対する補償 ○元島民後継者の育成強化	樽床北方担当大臣	理事長 両副理事長 専務理事 根室管内各支部長 青連協会長
1月16日 根室市	○北方領土の早期一括返還 ○財産権の不行使に対する補償 ○元島民後継者の育成強化	山本北方担当大臣	理事長 両副理事長 専務理事 根室管内各支部長 青連協会長 根室管内各青年部長 根室支部副支部長 根室支部理事・会員
1月30日 ～31日 東京都	○北方領土の早期一括返還 ○財産権の不行使に対する補償 ○元島民後継者の育成強化	岸田外務大臣 山本北方担当大臣 伊東財務大臣政務官 斉藤公明党幹事長代行 他 荒井 衆・沖北委員長 宮腰 衆・沖北理事	理事長 萬屋副理事長 専務理事
3月18日 東京都	○北方領土の早期一括返還	安倍総理大臣	理事長 萬屋副理事長 専務理事

(3) 北方領土返還要求運動各種大会等への参画

関係機関及び団体が実施する北方領土返還要求運動に参画した。

行事名等	行事名等
8月5日 北方領土返還要求根室市民大会(根室市)	1月19日 第27回“北方領土を考える”高校生弁論大会(札幌市)
8月19日 第31回北方領土ノサップ岬マラソン大会(根室市)	2月5日 第64回さっぽろ雪まつり北方領土返還要求署名活動(札幌市)
8月24日 2012北方領土返還要求北海道・東北国民大会(札幌市)	～11日
9月9日 連合「2012平和行動in根室」(根室市)	2月7日 平成25年北方領土返還要求全国大会(東京都)
9月30日 第8回北方領土まで歩こう会(根室市)	2月7日 2013北方領土フェスティバル(札幌市)
11月20日 第31回北方領土返還要求山形県民大会(上山市)	2月7日 平成25年「北方領土の日」祈念大阪府民大会(大阪市)
12月1日 北方領土返還要求行進中央アピール行動・街頭啓発(東京都)	2月7日 2013「北方領土の日」根室管内住民大会(根室市)

(4) 北方領土問題に関する研修会の開催

ア 北方領土問題トップセミナー

北方領土問題に関する情報提供等を行うため、理事を対象とするセミナーを開催した。

開催期日等	内 容
4月25日(水) 札幌市 出席者 23名	①講 演 演題：「領土交渉と返還運動」 講師：北海道新聞社函館支社報道部編集委員 本田 良一 氏 ②質疑等

イ 島民組織代表者会議

島民組織の活動促進を図るとともに相互の連携を深めるため、代表者会議を開催した。

開催期日等	議 題
10月4日(木) 根室市 出席者 21団体	①平成24年度における主要事業の実施(予定)状況について ②平成25年度自由訪問事業の実施計画について ③北方領土関連資料保存整備事業について ④会費未納会員に係る取組について

ウ 指導者養成研修会

地域活動の促進を図るため、各支部の指導者を対象に研修会を開催した。

開催期日等	内 容
5月29日(火) 札幌市 出席者 24名	①北方領土返還要求運動の推進 ②北方領土返還の啓発 ③後継者の育成対策の推進 ④組織活動の強化と地域活動の推進

エ 北方領土問題学習会

各地域での活動を積極的に行えるよう返還要求運動の在り方についての学習会を開催した。

主管支部	開催期日等	内 容
富山支部	11月24日(土) 黒部市 出席者 56名	①講演 演題：「千島連盟をめぐる現状と課題」 講師：専務理事 田村 明 ②少年少女納沙布派遣中学生の感想文発表 ③平成24年度自由訪問参加者体験報告 ④意見交換
ホーツク支部	12月1日(土) 網走市 出席者 38名	①講演 演題：「北方領土問題 取材から見えてきたもの」 講師：NHK札幌放送局報道番組ディレクター 浜田 寛之 氏 ②高校生による北方領土問題研修発表

(5) 北方領土関連資料の収集・保存

元島民等が所有する北方領土関連資料を収集・保存するとともに、収集した写真を収録集としてまとめた。また、北方四島における昔と今を比較したパネルを作成し、各地でパネル展示を開催した。

(6) 地域活動の推進

地域における北方領土返還要求運動及び元居住者の援護対策等を円滑に進めるため、各支部へ活動交付金を交付し、支部における地域活動を推進した。

2 北方領土返還に関する啓発

北方領土返還要求運動を啓発するため次の事業を行った。

(1) 啓発活動の推進

地域住民等に、北方領土返還に対する理解と関心を深めてもらうための啓発活動として、各支部において、啓発資料の作成、学習会の開催等の事業を行った。

(2) 広報紙の発行

会員に対する情報提供を行うため、「返せわれらが故郷」(225号、226号、227号)を各5,000部発行し、会員及び関係機関・団体等へ配布した。

(3) 「北方領土の語り部」の育成及び派遣

ア 後継者語り部の育成

後継者が元島民の思いを語り継ぐ「語り部」の重要性を認識し、その役割を担うよう育成するため講習会を行った。

対象支部等	開催期日等	出席者	語り部
釧路支部・厚岸支部 浜中支部・十勝支部	11月17日(土) 釧路市	元島民及び 後継者 28名	元島民：船崎 昇 氏 後継者：堀江 則男 氏
根室支部	2月16日(土) 根室市	元島民及び 後継者 21名	元島民：臼田 春美 氏 後継者：法月 信幸 氏 高橋 隆一 氏

イ 語り部の派遣

北方領土問題への関心と北方領土返還要求運動に対する意識の高揚を図るため、「北方領土の語り部」として登録されている元島民や後継者を関係機関及び団体等が実施する研修会、学習会等に派遣した。

派遣状況	・北方四島訪問事業研修会 8名・各都府県大会 6名 ・元島民の北方領土を語る会 6名・北方領土の語り部(北海道主催) 32名 ・その他 21名 計 73名
------	--

3 元居住者等の援護対策の推進

元居住者の援護対策の推進を図るため、次の事業を行った。

(1) 援護問題対策の実施

ア 援護に関する指導、助言

元居住者の援護対策として設けられている北対協融資制度の利用及び在島残置財産である土地、建物の相続手続き等に関し、指導、助言等を行った。

イ 援護問題等専門委員会の開催等

元居住者等の援護問題について幅広く研究討議を行うため、援護問題等専門委員会を開催するとともに、国及び国会議員等への要請を行った。

① 援護問題等専門委員会の開催

開催期日等	協議事項及び協議結果
第 1 回 12月4日(火) 札幌市 出席者 6名	〈協議事項〉 ・財産権の不行使に対する補償について ・北対協融資制度の現状について 〈主な意見等〉 ① 援護問題等専門委員会として、今後も独自に国会議員及び関係機関・関係団体等への要請活動を引き続き実施し、働きかけなども強化していくべきである。 ② 融資借入が後継者にシフトしているため、借りやすい制度にすべきである。
第 2 回 3月5日(火) 札幌市 出席者 6名	〈協議事項〉 ・財産権の不行使に対する補償について ・北対協融資制度の借入資格要件の緩和について 〈主な意見等〉 ① 財産権の不行使に対する補償についての基本的な考え方は、平成9年度千島連盟通常総会の決議どおりに進めることとし、元居住者の全世帯に裨益するよう配慮すべきである。 ② 融資の承継対象者は、元島民の子又は孫の全ての者に認めるべきである。

② 国及び国会議員等への要請活動

要請期日等	主な要請事項	要請先	要請者
11月20日(火) 東京都	○財産権の不行使に対する補償 ○北対協融資制度の充実	内閣府北方対策本部参事官 民主党北海道選出議員会会長 (独)北方領土問題対策協会理事長	委員長 副委員長 専務理事

ウ 援護問題調査研究活動

元島民の援護対策の推進を図るため、役職員等が各支部を訪問し、元居住者に係る援護問題の現状等を把握するとともに、解決に向けての指導や助言を行った。

訪問日	訪問先	訪問日	訪問先
4月7日(土)	標津支部	5月20日(日)	十勝支部
4月8日(日)	オホーツク支部	5月24日(木)	中標津支部
4月15日(日)	道央支部	6月9日(土)	富山支部
4月15日(日)	函館支部	6月17日(日)	道北支部
4月21日(土)	別海町支部	2月7日(木)	関東支部
4月21日(土)	羅臼支部	3月10日(日)	厚岸支部
4月22日(日)	根室支部	3月17日(日)	浜中支部
4月28日(土)	釧路支部		

(2) 自由訪問事業の実施

人道的観点及び北方領土問題解決の環境整備のため、元島民とその家族による北方四島への自由訪問事業を次のとおり実施した。

区分	訪問地	期間	参加者数	使用船舶	備考
第1回	志発島 カフェノツ	5.16 ～ 5.18	元島民等 44 子の配偶者等 3 同行者 11 計 58	えとぴりか	
第2回	択捉島 グヤ 入里節 十五夜萌	6.1 ～ 6.4	元島民等 49 子の配偶者等 0 同行者 11 計 60	えとぴりか	荒天のため十五夜萌は上陸出来ず、入里節で慰霊祭実施
第3回	国後島 泊	7.6 ～ 7.9	元島民等 48 子の配偶者等 1 同行者 11 計 60	えとぴりか	
第4回	多楽島 フルベツ ヒラリウス	8.11 ～ 8.13	元島民等 48 子の配偶者等 5 同行者 11 計 64	えとぴりか	荒天のためフルベツ・ヒラリウスは上陸出来ず、多楽石で合同慰霊祭実施
第5回	色丹島 斜古丹 クリル人墓地 相見崎	8.31 ～ 9.3	元島民等 40 子の配偶者等 2 同行者 11 計 53	えとぴりか	
第6回	国後島 東沸	9.19 ～ 9.21	元島民等 40 子の配偶者等 7 同行者 11 計 58	えとぴりか	
第7回	択捉島 内保 ウエンバフコツ	9.28 ～ 9.30	元島民等 42 子の配偶者等 5 同行者 11 計 58	えとぴりか	当初の日程は、9/28～10/1であったが、荒天のため1日短縮。ウエンバフコツでの慰霊祭は未実施

(3) 北方領土墓参・北方四島交流事業への参加

ア 北方領土墓参

人道的観点から北海道が実施している北方領土墓参に次のとおり参加し、祖先や肉親の慰霊を行った。

区分	墓参地	期間	参加者数	使用船舶	備考
第1班	択捉島 年萌・オンネベツ トマカラウス				当初7/17～7/20の日程が、9/24～9/27に変更されたが、最終的にロシア側との日程調整がつかず中止
第2班	国後島 古釜布・近布内 瀬石	7.23 ～ 7.26	遺族 26 同行者 12 計 38	北海道漁業取締船 北王丸	

イ 北方四島交流事業（ビザなし訪問）

北方領土問題解決に向けた環境づくりのため、「北方四島交流北海道推進委員会」及び「北方領土問題対策協会」が実施する北方四島交流（訪問）事業に次のとおり参加した。

実施主体	期間	参加者数		訪問先	備考
			うち元島民等		
道推進委	5.11～5.14		—	国後島・色丹島	悪天候の為中止
	5.25～5.28	64	16	択捉島	教育関係者・青少年 後継者 後継者
	8.3～8.6	62	1	色丹島	
	8.17～8.20	61	13	国後島	
	9.7～9.10	44	11	国後島	
	9.7～9.10	20	12	択捉島	
小計	6回	251	53	—	—
北対協	6.28～7.2	63	5	国後島・択捉島	北連協主体の船
	8.24～8.27	50	2	択捉島	後継者
	9.13～9.17	65	5	国後島・色丹島	都道府県民会議主体の船
小計	3回	178	12	—	—
合計	9回	429	65	—	—

4 後継者の育成

今後の返還運動の担い手となるべき後継者の育成を図るため、次の事業を行った。

(1) 後継者育成の推進

ア 後継者活動の推進

後継者活動を推進する中心的な役割を担うリーダーを育成するため、後継者活動委員会を開催した。

開催期日等	内 容
5月27日(日) 札幌市 出席者 18名	①委員会設置経緯について ②後継者活動推進事業実施要綱について ③委員長、副委員長の互選について ④活動奨励事業について
10月21日(日) 札幌市 出席者 18名	①意見交換 ・この委員会が果たすべき役割について ・既存事業、親会事業との連携について ・その他

イ 後継者組織等の育成

後継者活動の中心となる後継者組織の育成を図るため、支部青年部に活動費を交付し、青年部による地域活動を推進した。

ウ 後継者育成推進員の配置

後継者の育成及び組織活動等に資するため、函館、オホーツク、釧路、別海町、中標津、標津及び羅臼の各支部に「後継者育成推進員」(通称「推進員」)を配置し、各種の後継者対策等の推進を図った。

エ 後継者の派遣研修

北方領土問題に対する視野を広め、地域活動のリーダーを育成するため、後継者の派遣研修を行った。

派遣日	派遣先	派遣者
12月1日(土)	北方領土返還要求行進中央アピール行動・街頭啓発(東京都)	後継者 5名
2月7日(火)	平成25年北方領土返還要求全国大会(東京都)	後継者 4名

(2) 研修会の開催

ア 北方領土問題現地青年の集いの開催

今後の北方領土返還要求運動の担い手となるべき後継者及びリーダーの育成を図るため、現地青年の集いを開催した。

開催期日等	内 容
5月12日(土) 中標津町 出席者 47名	①元島民の語り部 語り手：水晶島出身 佐藤 健夫 氏 ②パネルディスカッション テーマ：「後継者の在り方について」

イ 後継者活動促進全国会議・セミナーの開催

北方領土問題及び北方領土返還運動に対する後継者の理解と認識を深めるとともに、後継者間の連携強化を図るため、全国会議・セミナーを開催した。

開催期日等	内 容
10月20日(土) ～21日(日) 札幌市 出席者 40名	①講演 演 題：「海から見た北方領土問題」 講 師：東海大学海洋学部教授 山田 吉彦 氏 ②モスクワ派遣報告 報告者：函館支部長 坂上 範夫 氏 ③意見交換 テーマ：「後継者にできる返還運動について」

ウ 後継者研修会

開催期日等	内 容
2月9日(土) ～10日(日) 札幌市 出席者 57名	①元島民の語り部 語り手：多楽島出身 高岡 唯一 氏 ②DVD放映「北方四島交流事業を通して見た北方領土」 ③意見交換 ④署名啓発活動

(3) 後継者キャラバン事業の実施

各支部の後継者によるキャラバン隊を編成し、訪問地における当該自治体首長へのアピール及び署名活動等を通して、北方領土問題の啓発と後継者活動の活性化を図るとともに、「北方領土返還要求北海道・東北国民大会」において北方領土返還運動に取り組む強い決意を表明した。

実施期間等	訪 問 先
8月24日(金)～27日(月) 隊員数 19名	札幌市、青森市、弘前市

(4) 北方領土青少年洋上セミナーの実施

若い世代に対して北方領土問題の啓発を図るため、後継者が主体となり、青少年を対象にした北方領土の歴史や現状等を学習する洋上セミナーを実施した。

開催期日等	参加者	内容
7月15日(日) 根室市	元島民後継者 20名 北海道内在住の青少年等 68名	①船内学習 ・北方領土の語り部 ・北方領土クイズ ・絵画(貝)コンクール ②洋上視察 (航路:根室港~野付半島沖~納沙布岬沖~根室港)

5 千島会館の運営管理

北方領土問題に関する啓発・研修及び元居住者等の援護・組織活動の拠点施設として千島会館の供用を図るとともに、千島会館運営委員会を開催した。

(1) 千島会館の利用状況

【利用回数】 175回 (・返還運動関係者 167回 ・その他 8回)

【利用人数】 2,192名

(2) 千島会館運営委員会の開催

開催期日	内容
8月22日(水) 根室市 出席者 6名	①平成23年度使用状況について ②平成23年度管理費及び施設使用料の決算額について ③平成24年度管理費及び施設使用料の予算額について
2月13日(水) 根室市 出席者 4名	①使用状況について ②管理費の支出状況について

6 組織基盤の強化

連盟における組織基盤の強化と地域活動の推進を図るため、次の事業を行った。

(1) 北方領土返還運動推進功労者の表彰

ア 千島連盟理事長表彰

北方領土返還運動の推進、連盟の組織強化及び事業の推進に顕著な功績のあった者に対する表彰を行った。

【受賞者】

- ・金田 きよ (道央支部) ・倉賀野 トシ (道央支部) ・今野 よし (道央支部)
- ・中根 進 (道央支部) ・日向 好江 (道央支部) ・谷川 アキ (函館支部)
- ・高塚 正勝 (道北支部) ・中嶋 美江子 (オホーツク支部) ・堀川 孝子 (オホーツク支部)
- ・清水 征支郎 (浜中支部) ・古林 貞夫 (根室支部) ・篠田 杏子 (別海町支部)
- ・田端 顕久 (別海町支部) ・高橋 節子 (関東支部)

イ 内閣府特命担当大臣表彰

震災により23年度の表彰式が24年度に延期されたため、24年度の表彰は未実施となった。

(2) 組織強化と会員加入の促進

連盟組織の維持向上を図るため、各支部及び「島民の会」との連携の下に未加入となっている元居住者及び後継者に対し会員への加入促進を行った。

【平成24年度新規加入者数】 134名 (元島民 25名、後継者 109名)

(会員数の状況は巻末資料2参照)

(3) 新公益法人制度への移行業務の推進

組織内に設置した「新公益法人移行検討委員会」において検討・協議を行い、11月12日(月)に内閣総理大臣へ公益社団法人への移行認定申請書を提出したところ、3月22日(金)に認定を受け、平成25年4月1日付で公益社団法人へ移行することとなった。

(4) 通常総会等の開催

業務の適切かつ円滑な運営を図るため、通常総会及び理事会等を開催した。

ア 通常総会

開催期日等	議 題
5月28日(月) 札幌市 出席者 115名 委任状提出者 2,051名 計 2,166名	①平成23年度事業報告及び平成23年度決算について ②平成24年度事業計画及び平成24年度予算について ③公益社団法人への移行に係る定款変更案及び諸規程案について ④宣言及び決議について

イ 理事会

開催期日等	議 題
第 1 回 4月26日(木) 札幌市 出席者 23名	①平成24年度通常総会の進行次第について ②平成24年度通常総会の提出議案（議案書）について ③平成23年度事業報告及び平成23年度決算について ④平成24年度事業計画及び平成24年度予算について ⑤宣言及び決議について ⑥公益社団法人の定款変更案及び諸規程案について ⑦千島連盟理事長表彰について
第 2 回 10月12日(金) 書面理事会 出席者 24名	①公益社団法人への移行認定申請書（案）について ②平成24年度予算（損益ベース）について ③「後継者活動積立金」の活用（取り崩し）について
第 3 回 2月22日(金) 札幌市 出席者 21名	①平成25年度事業計画（案）について ②平成25年度収支予算（案）について ③公益社団法人への移行に係る規則（案）及び規程（案）について

ウ 監事監査

実施期日等	実施監事	監 査 対 象
第 1 回 5月9日(水) 千島会館	金田 慎吾 工藤 久男	平成23年度千島会館の財産・会計の状況及び業務執行の状況
第 2 回 5月10日(木) 連盟事務局	金田 慎吾 工藤 久男	平成23年度千島連盟（千島会館を除く）の財産・会計の状況 及び業務執行の状況

エ 業務運営委員会

開催期日等	議 題
第 1 回 7月31日(火) 札幌市 出席者 8名	①北方四島医療支援促進事業について ②要請活動について ③北方四島自由訪問、北方領土墓参、北方四島交流事業の実施状況について ④「北方領土の語り部」登録者について ⑤北方領土関連資料情報発信事業企画委員会所管事項について ⑥新公益法人移行検討委員会所管事項について ⑦会費未納会員に係る取組について

開催期日等	議 題
第 2 回 12月11日(火) 札幌市 出席者 7名	<ul style="list-style-type: none"> ①要請・請願活動について ②「北方領土の語り部」の派遣等について ③啓発活動推進事業の実施状況について ④会費未納会員に係る取組みについて ⑤平成25年度自由訪問事業計画（案）について ⑥平成25年度予算要求の概要について ⑦後継者活動委員会について ⑧新公益社団法人移行検討委員会所管事項について ⑨北方領土関連資料情報発信事業企画委員会所管事項について
第 3 回 3月12日(火) 札幌市 出席者 7名	<ul style="list-style-type: none"> ①理事長表彰について ②当面の課題等について ③広報紙編集委員会所管事項について

7 北方四島医療支援促進事業の実施

外務省との委託契約に基づき、我が国政府が、平和条約締結交渉のための環境整備に資することを目的として実施している北方四島人道支援事業（患者受入事業、医師・看護師等研修事業等）について、北方四島の医療事情及び北方四島の患者等を受け入れている国内医療機関等の状況を調査の上、医療支援事業に関する政策提言を含む報告書を外務省に提出した。

〈資料1〉

平成24年度 関係機関・団体別署名収集数

自 平成24年4月1日

至 平成25年3月31日

団 体 名	署 名 収 集 数
全国自衛隊父兄会	223,701
長野県民会議	155,517
北海道	103,487
千島歯舞諸島居住者連盟	83,064
北方領土復帰期成同盟	73,418
群馬県民会議	45,981
愛知県民会議	45,731
石川県民会議	43,272
長崎県民会議	42,716
和歌山県民会議	35,863
山形県民会議	33,462
愛媛県民会議	30,049
上記以外の県民会議	47,197
その他	49,609
合 計	1,013,067

※本表は署名収集数の多い団体を掲載

〈資料2〉

平成24年度 会員数

(平成25年3月31日現在)

支部名	元島民数 25.3.31現在	平成24年度 正会員数	左 の 内 訳				賛助会員数		会員合計	
			新規会員数		継続会員数		団体	個人		
			元島民	後継者	元島民	後継者				
道 央	1,012 (54)	556 (14)	2 (1)	14	344 (13)	196	0	30	586 (14)	
函 館	284 (11)	107 (1)	0 (0)	0	73 (1)	34	0	2	109 (1)	
道 北	237 (4)	106 (1)	0 (0)	7	64 (1)	35	0	0	106 (1)	
オホーツク	320 (6)	169 (4)	0 (0)	2	103 (4)	64	0	1	170 (4)	
十 勝	237 (8)	92 (2)	2 (0)	1	66 (2)	23	0	0	92 (2)	
釧 路	901 (45)	253 (7)	2 (0)	4	178 (7)	69	0	2	255 (7)	
厚 岸	73 (1)	59 (0)	0 (0)	0	36 (0)	23	0	0	59 (0)	
浜 中	56 (5)	58 (3)	0 (0)	0	37 (3)	21	0	1	59 (3)	
根 室	1,500 (60)	776 (7)	12 (1)	17	453 (6)	294	4	19	799 (7)	
別 海 町	148 (8)	185 (3)	0 (0)	18	81 (3)	86	2	1	188 (3)	
中 標 津	135 (8)	162 (2)	0 (0)	1	75 (2)	86	4	17	183 (2)	
標 津	88 (5)	100 (2)	0 (0)	4	39 (2)	57	0	1	101 (2)	
羅 臼	131 (7)	111 (3)	0 (0)	0	41 (3)	70	2	0	113 (3)	
関 東	752 (64)	437 (8)	3 (0)	17	221 (8)	196	0	8	445 (8)	
富 山	590 (5)	390 (2)	2 (0)	11	223 (2)	154	1	4	395 (2)	
支 部 以 外	道内	344 (11)	109 (2)	0 (0)	4	72 (2)	33	1	6	116 (2)
	道外	631 (32)	295 (10)	2 (0)	9	166 (10)	118	0	6	301 (10)
合 計	7,439 (334)	3,965 (71)	25 (2)	109	2,272 (69)	1,559	14	98	4,077 (71)	

※元島民数及び正会員数の（ ）は、平成20年4月1日施行の旧漁業権者法の一部改正に伴う
新元居住者の内数